

「江別市小中一貫教育」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

# 学 つなぎ つむぐ

EBEIBU

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和6年8月23日

第41号

江別市教育委員会

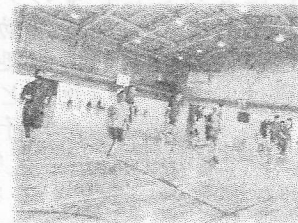
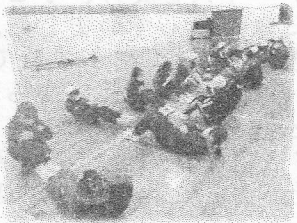
総務課・学校教育課

## 小学校と中学校で体力向上を目指す取組

### ①江陽中学校区合同新体力テスト

6月5日（水）～7日（金）に江別太小と豊幌小の5年生が江陽中を訪れ、中学2年生と一緒に新体力テストを行いました。実施の目的は、「小・中の先生方が児童生徒の実態を把握し、お互いに情報交換を行って学習指導や生徒指導の充実につなげること。進学に対する不安感を取り除き中学校生活への円滑な接続を図ること。」です。

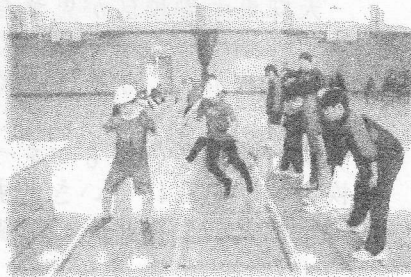
小中一貫教育の体力向上部会が事前に協議して計画を立て、種目をシャトルランと反復横跳びに絞る、走力に合わせて3グループに分ける、グループから1名ずつの3人1組とし、測定や声援の役割を担う等の工夫をしました。そのため、テスト種目への意欲や記録の向上が図られ、時間のロスが少なく余裕を持って実施することができました。また、中学生が小学生を優しくリードする姿が素晴らしかったこと、小学生にとっては普段の体育の授業よりも意欲的な姿勢で臨むことができたこと等が成果として挙げられます。



江陽中の2年生が江別太小と豊幌小の5年生に優しく接していました！自分の記録に挑戦し、頑張る子どもたち！

### ②第三中学校区合同新体力テスト

7月1日（月）に第三中の2年生といずみ野小の5年生と一緒に新体力テストを行いました。今年度から実施した新たな取組ですが、事前に実施方法等を検討し、種目は「立ち幅跳び」「反復横跳び」「長座体前屈」の3種目に絞りました。中学校の体育の先生が記録を伸ばすポイントを指導した後、小学生と中学生が一緒のグループになって各種目に取り組みました。今回の取組で工夫した点は、「各グループで中学生が実施方法等の説明や補助、アドバイス、応援を行ったこと」「中学生が補助する際に、タブレット端末を活用して小学生の跳躍を撮影して角度等を確認できるようにしたこと」等です。小学生は自校で事前に測定してきた記録を大幅に上回ることができ、達成感を十分に感じていました。また、中学生も小学生の記録が伸びたことを自分のことのように喜ぶ様子が見られ、自己有用感が高まりました。小・中学校の協働による体力向上を図る取組として大きな成果を挙げました。

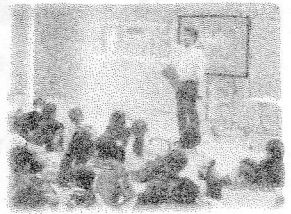


小学生と中学生と一緒にランニング！ 中学生がお手本を示す！ 中学生のお手本や励まして記録アップ！

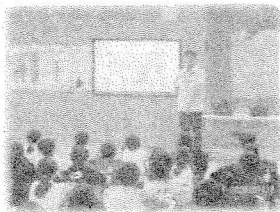
# 美術科・英語科・理科の授業体験とキャリア教育 ～第一中学校区の中学校登校の取組～

7月17日(水)に第一中学校区の中学校登校が行われ、第一小学校と上江別小学校の6年生が第一中学校の先生の授業を体験し、中学校の学習や生活に関わる内容のキャリア教育の授業を受けました。

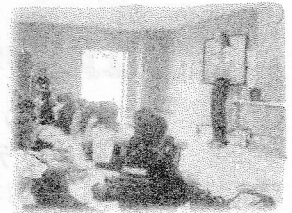
キャリア教育の授業では、中学校の学習や定期試験・成績について、スマートフォンやSNSに関するトラブルの防止について、中学校の1日の流れや1年間の主な行事等について、担当の先生から説明がありました。その中で、今年度の中学1年生が「小学校と中学校の違い」について感じていることを話してくれました。「授業が難しくなる」「中休み(長休み)がない」「部活動がある」「運動会が体育祭、学芸発表会が文化祭になる」「修学旅行で東京に行く」「先生方がおもしろい」「新しい友達がふえる」「楽しい」等、様々な内容が出てきて、小学6年生の子どもたちはとても興味深そうに聴いていました。説明の後には、「Aランクになる人はどのくらいいますか」「係活動はありますか」「放課後学習はどのくらいの時間やりますか」等の質問が出され、来春の中学校入学に思いを馳せているようでした。



教頭先生のお話

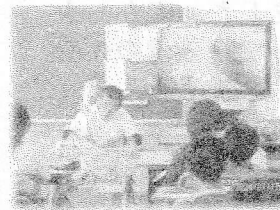


中学校の生活について



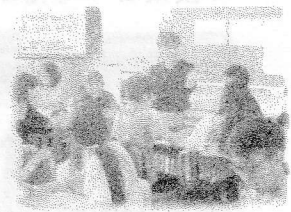
中学校の学習について

体験授業は、美術科、理科、英語科で行われました。美術科は、ペンで動物を描いて色鉛筆で着色をする学習でした。着色をする際に、友達が指定した2つの色を使えないという条件があるため、先生から、「色を重ねて似ている色をつくっていくこと」「円いものは円く描く等、物の形に合わせて着色をすること」「重ねると素敵な色になること」等のアドバイスをを受け、子どもたちは意欲的に創作活動に取り組んでいました。



美術科の体験授業

理科は、「視覚の情報処理」について学ぶ学習で、課題は「ヒトの『色』と『意味』への反応する速さを調べる」でした。子どもたちは、3人1組または2人1組でプリントに書かれている文字や色を読み合い、読み上げるのにかかった時間を調べていく活動を行いました。中学校の理科の学習への興味関心が高まるような内容でした。



英語科の体験授業

英語科は、先生の自己紹介のリスニング(聞く)から始まり、友達同士で「どんな食べ物やスポーツが好きですか」と聞き合う活動の中でスピーキング(話す)も行いました。途中でライティング(書く)の場面があり、子どもたちは、楽しそうに活動していました。

上江別小の子どもたちは、体験授業後には給食も喫食し、中学校での給食時間も体験しました。

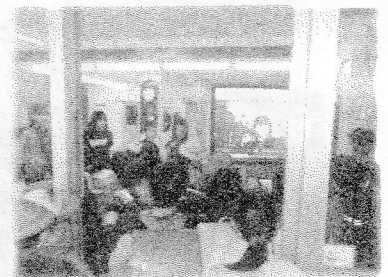
今回の取組は、子どもたちにとって、中学校生活への不安を緩和し、新たな目標づくりに向けて備えるための貴重な体験となりました。



理科の体験授業

## 離れていても一緒に活動！挨拶の輪を広げよう！ ～大麻東中学校区のリモート挨拶運動～

大麻東中学校区が児童会と生徒会合同の挨拶運動を行いました。昨年度から取り組んでいるもので、学校間の距離が離れていることから、リモートで学校間をつないで、児童会や生徒会の役員が画面越しに登校してくる子どもたちに挨拶をする取組です。離れていても心をつなげて一緒に活動し、中学校区内に挨拶の輪を広げていきます。小中の連携・協働を進める「相乗的・補完的な指導」の取組の1つです。



大麻東小での挨拶運動の様子